

## 27 Lesson 8 (2)

### 大切なことを伝えよう (2)

英語監修・出演 阿野 幸一

(きょうの目標) 大切なことを伝えることができる

- 文全体をまとめる that
- 文の代わりにする it

(文法・表現) It is ... that ~

#### 文全体をまとめる that

次の日本語の内容を英語で表現するにはどうしたらいいか考えてみましょう。

「ホテル・トレンディーが世界中で有名になるのは明らかです」

この文の主語に当たる部分は「ホテル・トレンディーが世界中で有名になる」と考えられます。これを英語では次のように表現できます。

The Hotel Trendy will be famous all over the world.

そして、「明らかです」は is clear と表すことができます。

この2つの部分をつなげると次のようになります。

The Hotel Trendy will be famous all over the world + is clear

①

②

①の部分は、これだけで完成した1つの文になっています。しかし、完成した文にはなっていますが、②の is clear の主語としての役割をするためには、①の文全体を1つの名詞のようなまとまったかたまりにする必要があります。このまとまりを作るのが接続詞の that です。that を文のはじめにつけることで、次のようなまとまったかたまりができます。

That the Hotel Trendy will be famous all over the world

(ホテル・トレンディーが世界中で有名になること)

そして、このまとまり全体を is clear で受けることで文にすることができます。

That the Hotel Trendy will be famous all over the world is clear.

(ホテル・トレンディーが世界中で有名になることは明らかです)

## 文の代わりをする it

前述の文でも意味を伝えることはできますが、主語に当たる□の部分が長すぎるために、文全体のバランスが悪くなっています。そこで、□の代わりに文のはじめに形式主語の it を置き、□全体を文の後ろへ移動することで、バランスのとれた文として表現することができます。

It is clear **that the Hotel Trendy will be famous all over the world** .

同様の形をした文をほかの例で確認しましょう。

It is clear **that Japanese culture is becoming popular around the world** .

(日本文化が世界中で人気になりつつあるのは明らかです)

It is nice **that we can communicate with a lot of people in English** .

(たくさんの人と英語で意思の疎通をすることができるのはすてきです)

### あの先生のこの話!



#### スペリングと発音の関係 ~ m と n を見分けるには ~

英語のスペリングは、発音と密接な関係にあります。よく間違えるつづりに **m** と **n** がありますが、実際に単語を発音してみることで簡単に区別することができるのです。ポイントは、

口が閉じていれば **m**

口が開いていれば **n**

**m** と **n** の口の形を意識しながら、次の単語を発音してみましょう。

one	number	noon	moon
many	money	important	

単語のスペリングを覚えるときには、発音しながら覚えるといいですよ。

